

認証連携のための学術認証フェデレーションの展開

The leveraging of the Academic Authentication Federation (UPKI-Fed)

学術認証フェデレーションの構築状況

平成20年度の実証実験では、商用の出版社であるElsevier社のScience Directとアジアで初めて認証の連携に成功しました。



学術認証フェデレーションの活用事例

- 既存の学内認証基盤とシームレスな連携
 - 学内IDを利用した認証の連携で、学内のみならず学外の複数のWebサービスがシームレスに利用可能
- 研究コミュニティの形成を支援
 - 研究分野グループ(VO)連携を支援
- 遠隔講義・遠隔会議の実施を支援
 - 遠隔講義/テレビ会議システムの共用予約が可能
 - テレビ会議システムの共用によりコストの削減が可能

学術認証フェデレーションの概要



研究分野グループ(VO)連携の実現

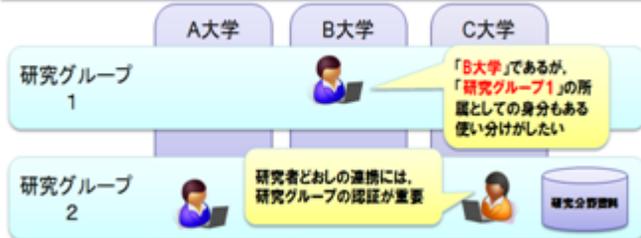
従来のIdPは所属機関単位の縦型で構成

研究者としての活動はむしろ所属機関を横断した横のつながりが重要

- 大学間連携による教育への取り組み(単位互換等)も広がってきている
- 複数の組織への所属や、研究グループに対する認証も必要

横型連携を実現する認証基盤の研究開発を併せて実施

- 横型連携のためのIdPの構築・提供手法の検討
 - 認証のためのIdPだけでなく、SP側の対応についても調査
- 実現例: 情報系学会群向け「NII情報学広場」



学術認証フェデレーション試行運用の実施

参加機関募集中！！

【実証実験】平成20年度	【試行運用】平成21年度	【本格運用(予定)】平成22年度
<ul style="list-style-type: none"> ・実験参加: 27機関 ・テストデータを使用した実験 ・アジア初! 商用出版社との認証の連携に成功 	<ul style="list-style-type: none"> ・実データを利用した試行運用 ・商用出版社との認証連携拡大 (Ovid, Refworks, Thomson等) ・フェデレーション運用規程策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・実データを利用した本格運用 ・インターフェデレーションの検討を開始

平成21年度は、昨年度までの成果を活かして、電子ジャーナルとの認証連携の拡大や平成22年度からの本格運用に向けたフェデレーション運用ポリシーの検討を行う試行運用を実施します。現在、参加機関を募集しています。詳しくは、下記の連絡先まで、お問い合わせください。



連絡先: 国立情報学研究所学術基盤推進部 基盤企画課 総括・連携システムチーム

TEL: 03-4212-2218 FAX: 03-4212-2230, Email: upki@nii.ac.jp, URL: https://upki-portal.nii.ac.jp/